

宮崎県拠点の  
Webサイトは  
こちらから



# 宮崎県拠点だより



NO-FOODLOSS PROJECT

食品ロス削減国民運動の  
ロゴマーク (ろすのん)

## 食品ロスを減らそう

➤ 10月は食品ロス削減月間

➤ 10月30日は食品ロス削減の日

### 日本の食品ロスの状況 (令和3年度)

日本の「食品ロス量」

約523万トン

事業系

家庭系

約279万トン 約244万トン

資料：農林水産省及び環境省推計

### 国民1人当たり食品ロス量

1日 約114g

※ 茶碗約1杯のご飯の量に近い量

年間 約42kg

※ 年間1人当たりの米の消費量  
(約51kg) に近い量



資料：総務省人口推計(2021年10月1日)  
令和2年度食料需給表(確定値)

「持続可能な開発目標」(SDGs)のターゲットの1つに、2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食品廃棄物を半減させることが盛り込まれるなど、国際的な食品ロス削減の機運が近年高まっています。

「食品ロス」とは、本来食べられるにもかかわらず捨てられている食品です。

我が国においても、「国民運動」として推進するため、令和元年に食品ロス削減推進法が施行されました。

2030年度までに、「食品ロス」を2000年度と比べて半減させることを目標として、様々な取組を進めています。

令和3年度の食品ロス量は523万トン(前年度比+1万トン)、このうち食品関連事業者から発生する事業系食品ロス量は279万トン(前年度比+4万トン)、家庭から発生する家庭系食品ロス量は244万トン(前年度比▲3万トン)となりました。

【全国版・第1回】  
**みどり戦略  
学生チャレンジ**

みどりの  
食料シス  
テム戦  
略

詳しくはこちら  
をご覧ください



農林水産省では、次世代の農業を担う農業大学校や農業高校等の学生が「みどりの食料システム戦略」を理解し、みどり戦略の実践に向けた取組にチャレンジしてもらうことを目的として、「みどり戦略学生チャレンジ」を実施します。

学生の皆さんは、2050年に我が国を担う中核世代であり、日本や世界の未来が懸かっています。みどり戦略の主役として、日本の食料・農林水産業をリードするために、環境に配慮した取組にチャレンジしてみませんか！！



県内の各学校に出向いてお話しています。  
(宮崎県立宮崎農業高等学校の様子)

美郷町は9月27日に、特産品である「美郷栗」の収穫作業の省力化を推進するため、自走式栗収穫機の実演会を開催しました。

株式会社オーレックでは、九州で初めてとなる栗収穫機の実演で、美郷町の樹園地で機械の説明と生産者との意見交換を行いました。



参加した生産者からは「落ちたイガ付きの栗も拾うため、イガと実を分ける機能があると助かる」という要望や「空のイガも回収するので、樹園の清掃の手間が省け病気が入らなくなる」という嬉しい声などが聞かれました。

美郷町では、スマート農業を活用して高齢者でも栗を生産できる体制を作り、現在の生産面積を維持し、将来の担い手に繋げるための取組を行っています。

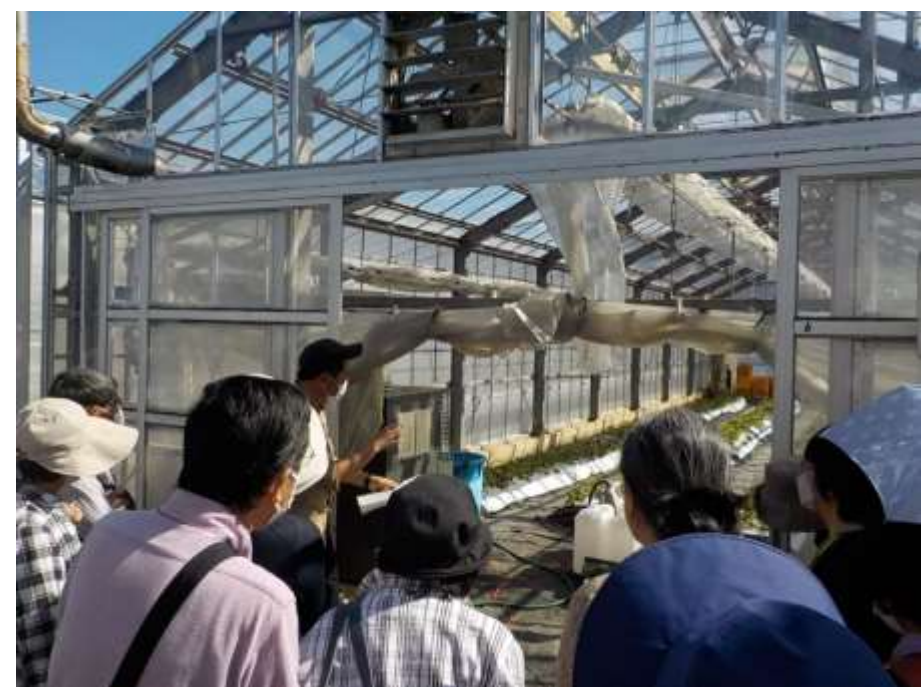
## みどり戦略の講演と現地視察

### ●●●● 「しんとみ発見学びフロンティア塾」 ●●●●

●9月21日、新富町生涯学習講座「しんとみ発見学びフロンティア塾」第5回講座で、「みどりの食料システム戦略」の内容を説明し、参加者の皆様と意見交換を行いました。



●10月6日には、宮崎県総合農業試験場の環境制御装置の実証現場などの視察に参加し、参加者との交流を深めました。



- 本紙の記載内容や農政についてのご質問、ご意見等お気軽にお問い合わせ下さい。
- 宮崎県拠点 地方参事官室  
TEL 0985 - 24 - 2365  
〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17

### 編集後記

先月末まで真夏日が続いていましたが、10月になって、ようやく秋らしくなり、普通期米の稲刈りも目にするようになりました。今月は「食品ロス削減月間」。食品ロスが減れば、その廃棄に伴う運搬、焼却等で発生していたCO<sub>2</sub>も削減され、みどり戦略にもつながります。(N)